

かわなみ

ただかす
《中央区》

令和5年2月17日(金)本会議にて、河南(かわなみ)は自由民主党神戸市会議員団より代表質疑いたしましたので報告します。 ※以下、質疑抜粋・要約

今号の
報告

- 防犯カメラの設置、機能について
- ACP(人生会議)の普及啓発について
- 大規模マンションの防災・コミュニティ対策について

令和5年2月17日(金)本会議にて

かわなみ質疑

市民の安心・安全を守る

防犯カメラの設置・更新について

防犯カメラの設置予定について

安全・安心に対する近年の意識の高まりを踏まえれば、防犯カメラの設置や更新の要望が増加することも予想されます。その要望に適切、かつ柔軟に答えていく必要があります。一方で、増設する直営防犯カメラの設置の基準や、地域で偏りがある防犯カメラの設置状況と治安状況を踏まえた対応方針を、早急に開示していくべきと考えますが、いかがでしょうか。

今回、約500台の直営防犯カメラの増設、また地域が設置する防犯カメラへの更新補助の拡充が発表されました！

市 久元市長からの回答

令和2年度・3年度

小学校や乗降客の多い主要駅の半径500メートルを基準として約2,000台を設置

+

●このたびの増設計画においては、これを補完するかたちで、小学校の半径500メートル圏外の通学路や、主要交差点、比較的乗降客数の多い駅の周辺など、現在、防犯カメラがない箇所を基準に設置を進めていく予定。

●具体的な設置場所については、犯罪発生状況や危険箇所情報などに基づき、兵庫県警からの効果的な候補の提案を基に地域団体向け説明会や市民意見募集などの意見を踏まえ、決定したい。

防犯カメラ性能のアップデートについて

約2,000台ある既存の直営防犯カメラについては、令和3年4月の運用開始から、昨年12月末までの間に、県警から2,136件の画像提供依頼があるなど、まちの安全につながっていると聞いております。技術が日進月歩で進化中、例えば、画素数が不十分であったり、取付けの角度などにより、証拠能力が十分でないものもあるのではないかと考えます。既に設置した防犯カメラについても、性能が陳腐化したものを放置するのではなく、計画的に機能のアップデートを実施していくべきではないかと考えますが、併せて見解をお伺いいたします。

令和3年4月～令和4年12月末の間に、県警から2,136件の画像提供依頼が！

市 久元市長からの回答

既設の直営カメラ
すべて200万画素

県警からも犯罪捜査に十分活用できていると聞いている

+

●今回500台増設するカメラについても、同様の性能を有するカメラを設置する。

●今後、技術は日進月歩で進化すると考えられるので、費用対効果も踏まえた上で、必要な機能を向上をさせていきたい。



令和5年2月17日(金)本会議にて

かわなみ
要望

県警との連携も密に、さらなる安全性の向上を

無電柱化が進む地域では、カメラの取付け場所にも工夫が必要になってくるとの意見もあります。ただ、つけばいいというわけではなく、高さや見栄え、角度も必要だと思えます。県警に捜査協力した際に、捜査に有効性があつたのかどうか、もし証拠として使えないなら、何をどう改善すればいいのか、連携を密にさせていただいて、さらなる安全性の向上に努めていただきたいと思います。

防犯カメラ
作動中

市民の安心・安全を守る

かわなみ質疑



大規模マンションの防災・コミュニティ対策について



災害が発生したときに、安全な場所への避難や避難場所での生活で、周りの人の手助けなどの支援を必要とする災害時要援護者については、事前にリストを作成し、民生委員、消防団、防災福祉コミュニティ等、実際に救護、支援活動に従事する団体に情報を共有、協力しながら、安否確認や避難支援を行っているとお聞きします。

平成 25 年に議員提案により設置された神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例に掲げる、市民が力を合わせて災害時要援護者を支援するという理念に基づき、現在、マンション管理組合を含む市内の 87 の地区及び団体が、共同による要援護者支援を実施しています。

一方で、大規模マンションが数多く立地する都心のマンション居住者については、オートロックなどのセキュリティ面の充実により、地域との関わりが希薄化しており、居住者の実態が分からず、民生委員が支援したくても状況がつかみにくいケースもあるとお聞きします。神戸市が主体的に情報をつかみ、提供するなど、都心ならではの取組み、支援を考えるべきだと考えますが、見解をお伺いいたします。

市 久元市長からの回答

●指摘のとおり大規模マンションについては、住民と地域団体との間の交流が乏しく、要援護者の把握が難しいという実態がある。対応として、まず建築住宅局において、管理組合による自主的な適正管理への取組みを支援するために、令和 3 年 3 月から、管理組合から管理状況を届け出ている制度を開始している。

●この届出項目の中には、防災マニュアルの有無、防災訓練の定期的な実施の有無、コミュニティ活動の内容が含まれており、届出による状況把握に努めている。防災などのテーマを含む管理運営に関する専門家派遣も実施をしており、管理組合の取組みを支援している。

●大規模マンションが集中する中央区においては、中央区役所が管理組合や管理組合と連携する地域団体へアドバイザーを派遣し、災害時にマンション内の要援護者の安否確認や、避難支援をどのように行うのかの助言を行っています。今後、このような取組をさらに強化していきたい。

かわなみ要望



管理会社さんとも共同で支援援体制づくりを

オートロックのマンションでは、インターホンを鳴らしても、カメラ付きであっても、応答いただけないこともある、と民生委員の方からの悩みも聞く時代です。

例えば顔なじみの管理員さんが横にいらしゃったら、少し対応は変わってくるのかと思いますので、その辺も管理会社の管理員さんとも共同して、しっかりと支援と確認体制を強化するようにお願いしたいと思います。



かわなみ質疑



もしも…の時のために ACP の普及啓発について

健康局において、市民向けパンフレットの配付や講演会の開催に係る予算が計上されていますが、本人以外の家族等も含め、より幅広い世代に普及啓発できるよう、さらなる方策を検討すべきと考えますが？

アドバンス・ケア・プランニング

ACP = 人生会議

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

かわなみ MEMO



市 小原副市長からの回答

患者本人が人生の最期まで希望に沿った医療、ケアを受けられるよう、様々なアプローチで ACP の普及啓発を行っていききたい。

- 神戸市では、人生の最終段階における意思決定支援について有識者会議を開催し、令和 3 年 8 月に報告書を取りまとめたところ。
- 市民向けのパンフレットや、市民公開講座、医療・介護従事者向けの教育講演等などにより、ACP の普及啓発をより一層推進することが必要との報告を頂いている。具体的には、みとりに関わる医療・介護関係者の実務者等をメンバーとする検討会議を開催し、検討を進めているところ。
- 事業については、令和 5 年 4 月から順次実施していきたい。
- この検討会議の中でも、議員から指摘があったように、本人だけでなく、より幅広い世代に普及啓発を行っていく、といった点が非常に重要であると意見を頂いている。

わかりやすい言葉「人生会議」で通用してはいかがでしょう？

かわなみの



神戸市医師会をはじめ、我が会派からも提案、様々な皆さんのお力によって、先ほどおっしゃられた報告書がまとめられました。ACP の内容を知っていただくため、英語の頭文字を取って言うのではなくて、人生会議という言い方で大きく打ち出して通用させたほうが、人生会議って何だろうと中身に興味を持っていただいて、市民の心に響くのではないかと思います。

